

令和6年度春季企画展

# 羽毛

# 恐竜展

◆長崎県初公開!!  
ライスロナックス全身骨格



ほか

羽毛をもつ恐竜の進化

2024

3.23 <Sat>

5.26 <Sun>

9:00-17:00 (最終入館16:30)

■会場：長崎市恐竜博物館 企画展示室

■休館日：4月8・15・22日(月)、5月7日(火)、13・20日(月)

観覧料

一般(高校生以上)：1,000円(1,300円)

子ども(3歳~中学生)：500円(600円)

※( )は常設展とのセット券料金

〈割引きについて〉市内外問わず各種手帳をお持ちの方と介助者の方1名は企画展観覧料が2割引になります(常設展観覧料は市内の方は無料、市外の方は半額です)。3歳未満のお子様は無料です。企画展チケットおよび企画展+常設展セット券の団体割引はございません。

Nagasaki City Dinosaur Museum  
長崎市恐竜博物館

# 標本・生体復元模型が大集合!

## 羽毛恐竜展

**恐** 竜という古生物には、まだまだ数えきれないほどの謎や不思議があります。

およそ1億6400万年という、その途方もなく長い時間の中で進化と絶滅を繰り返しながら、恐竜は新たな環境「空」への進化に挑みながら、鳥類へと進化を遂げました。

本展では、「羽毛恐竜」をクローズアップし、さまざまな全身骨格や化石等の資料を基に、羽毛恐竜の等身大の生体復元模型の展示を行うことにより、羽毛恐竜の生態を再現し、新しい視点での恐竜進化の検証を可能なものとし、「恐竜」という古生物を科学的な視野から分かりやすく展示します。

太古の昔、恐竜は、  
多様な羽毛を進化させた!

全長約6m

◆ティラノサウルス類  
ユティランヌス

生体復元モデルを通して、巨大化した羽毛恐竜の全貌を紹介します。



なぜ、恐竜は  
羽毛をもったのか?

恐竜は、いつから  
羽毛をもっていたのか?

# Feathered Dinosaurs

©工藤晃司



中国遼寧省で発見されたシノサウロプテリクスをはじめとする様々な羽毛恐竜の標本と生体復元が大集合します。



長崎県初公開!

◆ティラノサウルス類  
ライスロナックス

全身骨格標本を通して、ティラノサウルスの巨大化の謎や羽毛があったのかなど、その謎に迫ります。

### 講演会

テーマ 「空に挑んだ古生物」

本展の監修を務めた高桑祐司さんによる講演会を実施します。



高桑 祐司

1968年、東京生まれ。横浜国立大学大学院教育学研究科修了、茨城大学大学院理工研究科で理学博士を取得。現在、群馬県立自然史博物館学芸員。専門は古脊椎動物学で、中生代や新生代のサメ類を中心に様々な古生物を研究している。

【日 時】5月6日(月・祝) 13:00~  
【場 所】恐竜パーク 野母崎文化センター  
【参加費】無料

最新情報をチェック! /



web サイト



X (旧Twitter)



Instagram

所在地 長崎県長崎市野母町 568-1  
お問合せ 長崎市恐竜博物館 TEL 095-898-8000

### 〈アクセス〉

車 : 長崎駅から約 50 分  
国道 499 号線を南へまっすぐ  
バス : 長崎駅から約 60 分  
「恐竜パーク前」バス停にて降車

■ 主 催 : 長崎市恐竜博物館、長崎新聞社 ■ 共 催 : NBC長崎放送  
■ 協 力 : 群馬県立自然史博物館 ■ 企画協力 : 中央宣伝企画

